

ボランティア 活動報告

活動場所：情緒障がい児短期治療施設（愛知県）
活動日時：2～3ヶ月に一度、日曜日 14～16時
活動内容：クラフトづくり
対 象：施設の小・中学生 15～20名



子どもたちの作品例

主宰者より：3年ほど前にPTAで訪問したのをきっかけに、こちらからボランティアを提案させていただきました。以来、年に5回ほど、学園の先生方、学園ボランティアのスタッフの方々の協力を得て行ってきました。

当初は一体何が始まるのかな、といった感じが漂っていましたが、クリスマスのキャンドルづくりをスタートに石けん、ボディーパウダー、リップなど子どもたちが日々の生活で実際に使用し、楽しめるものをつくっています。春と秋は学園の行事の折に、ハンドトリートメントを行いました。ご父兄や外部の方も参加できる形で、にぎやかに楽しいひとときになりました。学園長さんの大きな手に包まれ、うとうとと眠りそうになる子どもがいたり、相手に喜んでもらったことで、自分自身が生き生きし始めたり、好きな香りを何度も嗅いでみたりしていました。

子どもたちはいつもとても素直で、楽しい時間を過ごさせてもらっているのは私のほうではないかと思っています。手と手のふれあい、オリジナルをつくる楽しさ、身近なものや食せるほどの安心な素材を知り、生活の質を考えること、自分の意思によって意義ある時間を楽しめることなどを大切に、これからも進めていきたいと思っています。

渋谷 祐子さん

園長先生のコメント：日頃のボランティア活動、本当にありがとうございます。渋谷さんの温かい、やさしい眼差しとアロマの香りが傷ついた子どもたちを癒し、愛情で満たしていただいています。この「出会い」を大切に、今後ともよろしくお願いします。

ボランティア担当（加藤主査）のコメント：子どもたちは集団生活で毎日賑やかな生活をしています。香りというものに、子どもたちは心をひかれ、心静まるひとときを楽しませてもらっています。

（2007/3/25 発行 AEAJ 会報誌 No.43 に掲載）